

【2. 裏面 記入例①】 入してください  
 及び課税証明書等については次のとおりです。（次の①から⑧までのいずれかの□にレ印を付けてください。）

①  親権者(両親)2名分  
 生徒が未成年(18歳未満)であり、親権者(両親)が2人存在する場合

②  親権者1名分(アからウのいずれかの□にレ印を付けてください。)  
 (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、⑤から⑧までのいずれかの□にレ印を付けてください。)

③  未成年後見人  名分。  
 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合  
 (未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分。ただし、未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除きます。)

④  生徒の生計をその収入により維持している者(以下「主たる生計維持者」という)(両親等)2名  
 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合

⑤  主たる生計維持者1名分(アからウのいずれかの□にレ印を付けてください。)

⑥  生徒本人  
 ・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合、  
 ・未成年であるが市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ている場合 等

① 両親が保護者で、互いに配偶者の扶養に入っていない(控除対象配偶者(同一生計配偶者)ではない)場合

添付書類：両親(京都行男・京都来子)2名分の課税証明書等

としても所  
ない場合

(2) 次の理由により、課税証明書等を添付しません。

⑦  所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人が、未成年で市町村民税所得割を課されるだけの親権者、未成年後見人、主たる生計維持者又はど市町村民税所得割を課されていない場合)

⑧  親権者、未成年後見人、主たる生計維持者又はど市町村民税所得割を課されていない場合

全員の保護者情報を記入してください。(本例の場合2人)

いずれも存在しない場合)である  
に日本国内に在住していないな

※必ず記入してください  
 保護者等の氏名、生徒との続柄及び保護者等の令和6年1月1日現在の住所(市区町村まで)  
 (上記⑦に該当する場合は記入不要)

保護者等の氏名	生徒との続柄
(ふりがな) きょうと いくお	父(母) その他
京都 行男	( )
生年月日	1981年 1月 1日
<input type="checkbox"/> 生活扶助を受けている	
令和6年1月1日現在の住所	
京都 都道府県	宮津 市区町村
<input type="checkbox"/> 日本国内に住所を有していない。	
※日本国内に住所を有していない期間 ( )年 月 日・現在)まで	

保護者等の氏名	生徒との続柄
(ふりがな) きょうと くるこ	父(母) その他
京都 来子	( )
生年月日	1982年 1月 1日
<input type="checkbox"/> 生活扶助を受けている	
令和6年1月1日現在の住所	
京都 都道府県	宮津 市区町村
<input type="checkbox"/> 日本国内に住所を有していない。	
※日本国内に在住していない期間 ( )年 月 日)から( )年 月 日・現在)まで	

必ず確認し、チェックしてください。

※収入、別荘、更正決定による市町村民税の課税所得額(課税標準額)又は市町村民税の調整控除額の変更や離婚・死等の変更があった場合には、支給額が変更となることがありますので、必ず学校に連絡してください。

【3. 確認】 確認の上、必ず□にレ印を付けてください。  
 就学支援金を授業料に充てるとともに、就学支援金の支給に必要な事務手続を学校設置者に委任することを了承します。  
 学校受付日 令和 年 月 日 (学校において記入。)